

医療機器メーカーに勤める清家栄治さんは大阪に赴任した際、七福神を祭る寺社を訪ねる「七福神巡り」を知り、験担ぎがてら楽しむようになったといいます。しかし、浅川町に赴任してからは、近くに七福神巡りをできる場所がなく残念に思っていました。「そんな折に浅川町商工会理事を拝命しまして。みんなで町おこし案を考えていた際に、七福神巡りのことを話してみたら、『面白いのでやってみよう』ということになりました」。



チェンソーのみで仕上げた個性豊かな七福神

# 夢 ひらく！ ふくしま ストーリーズ Fukushima Stories

夢に向かって挑戦する人。地域のために伝統をつなぐ人。  
福島で頑張る人たちの物語をご紹介します。

## 「七福神をきっかりに 町の良さを感じてほしい」

浅川七福神巡り実行委員会

代表 清家 栄治さん(浅川町)

まずは七福神が必要と、チェンソーアートが趣味の知人に神像の制作を依頼。彼が所属する古殿チェンソーアートクラブの協力を得て7体の神像が完成し、昨年11月に町の「さんぎょうまつり」でお披露目しました。「七福神は本来、お正月の7日間に巡るものなんです。ですから、それまでに広く知ってもらおうと、まつりでPRするとともに、スタンプラリーができるマップも用意しました」。また、木で作られたご神体を保護するための祠が必要と、浅川七福神巡り実行委員会の会員を募って制作に着手。町民はもとより、浅川町に縁のある大工さんなども「町のためなら」と協力し、なんとか12月中旬に設置が完了しました。

「設置からまだ半年ぐらいですが、すでに町内外からたくさんの方が来てくれて、手応えを感じています。お参りをきっかけに浅川町に足を運ぶ人が増えて、町がにぎわえましょうね」と、七福神に引けを取らない満面の笑みで話してくれました。



「浅川町を通り初の七福神巡りスポットにしよう」と心をついに祠を組み上げます。

「七福神は浅川のおすすめスポットを満遍なく巡れるように設置しました。ぜひ町歩きと併せて楽しんでほしい」と清家さん。



七福神の設置ポイントが記された浅川町内のマップ。裏面は、設置場所にあるスタンプが押せる台紙になっています。

〒浅川町大字浅川字背戸谷地 112-15

☎ 0247-36-2815

(浅川七福神巡り実行委員会事務局/浅川町企画商工課)



マップ  
ダウンロードは  
こちら



「ふくしまストーリーズ」の記事に興味を持ちました。椅子をカッコよくリペアする職人技に、モノを大切にする心意気を感じました。(60代・猪苗代町)

2026年 8月号 つなげるふくしま  
ゆめだより